

開講科目名 Course	管理会計特殊研究（Ａ） / Advanced Management Accounting（Ａ）
時間割コード Course Code	13660
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	他 3
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	宮城 厚志
科目区分 Course Group	展開科目
教室 Classroom	オンライン授業
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	宮城 厚志（会計学研究科博士前期課程）
授業の目標	特になし
授業の概要	<p>授業の概要</p> <p>1. 前期講義の概要</p> <p>前期講義の目的は、一般に理解されている学術的な管理会計論に対して、実務から生まれたともいえる管理会計論（京セラ稲盛会長のアメーバ経営に用いられる管理会計システム論：以下「アメーバ管理会計論」）の基礎知識の習得に努めることにある。アメーバ管理会計論は「時間当たり採算制度」と呼ばれ、学術的な管理会計論とは一線を画している。そこで本講義は、学術的な管理会計論と比較することによって、アメーバ管理会計論の特質を理解できるよう講義する。講義方法としては、アメーバ経営関連の著書を用いながらアメーバ管理会計の基礎を学ぶ。前期講義では、それらの著書を通してアメーバ管理会計論の基礎知識の内容を理解することに努める。</p> <p>具体的な講義内容は、以下を予定している。</p> <p>（前期）</p> <p>1 アメーバ経営とは</p> <p>2 アメーバ経営の誕生</p> <p>3 時間当たり採算表</p> <p>4 経営哲学の重要性</p> <p>5 アメーバ経営と原価計算</p> <p>6 アメーバ経営と連結管理会計</p> <p>7 管理会計としてのアメーバ経営</p> <p>8 部門別採算制度の確立</p> <p>9 経営者意識を持つ人材の育成</p> <p>10 全員参加経営の実現</p> <p>11 セグメント別業種管理</p> <p>12 京セラフィロソフィー</p> <p>13 時間当たり採算制度（部門別採算の考え方）</p> <p>14 時間当たり採算制度（収入・経費・時間の捉え方）</p> <p>15 アメーバ管理会計の基礎知識のまとめ</p> <p>2. 評価方法</p> <p>ディスカッションでの発言及びレポート内容を総合的に勘案して評価する</p>
評価方法	<p>2. 評価方法</p> <p>ディスカッションでの発言及びレポート内容を総合的に勘案</p>
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし

授業計画	<p>具体的な講義内容は、以下を予定している。</p> <p>(前期)</p> <p>1 アメーバ経営とは</p> <p>2 アメ?バ経営の誕生</p> <p>3 時間当り採算表</p> <p>4 経営哲学の重要性</p> <p>5 アメーバ経営と原価計算</p> <p>6 アメーバ経営と連結管理会計</p> <p>7 管理会計としてのアメーバ経営</p> <p>8 部門別採算制度の確立</p> <p>9 経営者意識を持つ人材の育成</p> <p>10 全員参加経営の実現</p> <p>11 セグメント別業種管理</p> <p>12 京セラフィロソフィー</p> <p>13 時間当り採算制度(部門別採算の考え方)</p> <p>14 時間当り採算制度(収入・経費・時間の捉え方)</p> <p>15 アメーバ管理会計の基礎知識のまとめ</p>
テキスト	<p>3. テキスト</p> <p>テキストは随時プリントを配布する。</p>
参考書	<p>4. 参考書</p> <p>『アメーバ経営の進化?理論と実践?』(アメーバ経営学術研究会編)</p> <p>『管理会計』櫻井通晴(同文館出版)</p>
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の实務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	特になし
フィードバックの方法	特になし
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	特になし
使用言語	日本語
SDGs 17の目標(1~10)	
SDGs 17の目標(11~17)	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	